

開催概要

- 名称 「災害時の応援業務に関する協定」締結式
- 日時 2017年11月15日(水) 11:20~11:40
- 場所 新潟県庁 行政庁舎 201会議室
- 締結者
新潟県知事 米山 隆一様
にいがたGIS協議会 会長 坂井 宏子様
協同組合くびき野地理情報センター 代表理事 古川 征夫様
一般社団法人長岡GIS研究会 代表理事 吉楽 雅博
- 協定内容
・ 災害時における、応急対策のための電子地図の作成
・ 平時における、防災訓練・研修等における連携

■ 締結状況



写真左より、古川様、坂井様、県知事米山様、吉楽

■ 今後の活動について

長岡GIS研究会ではこの度、新潟県内で地理空間情報(GIS)の研究や技術開発を行う3団体の1つとして、新潟県と「災害時の応援業務に関する協定」を締結しました。

GISの技術を利用し、災害発生時のライフラインの被災状況・要支援者等の位置情報を一元化して“見える化”することで、被害の全体像の把握と意思決定に役立てることが可能になります。

県内で災害が発生した場合には、自治体等から収集された被害情報を基にして、道路・上下水道等ライフラインの被災状況や復旧状況を把握するため電子地図を作成して、迅速な災害応急対策に寄与します。

また、平常時においても訓練・研修等で連携して、技術力の向上を図りながら、“いつ発生するか判らない災害”に対する連携力の向上に努めます。

長岡GIS研究会の所在地である新潟中越地区では、H16年・H19年に大規模な地震が発生し、H16年・H23年・H25年・H29年の各年には水害が発生しています。これら災害への対応実績・知見・技術を活かし、新潟県全域における地域防災力の向上に向けて尽力してゆきます。